

令和4年度第2回 少年自然の家運営委員会

次 第

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報 告
 - (1) 令和4年度利用状況について
 - (2) 令和4年度主催事業について
- 4 協 議
 - (1) 令和5年度運営方針（案）について
 - (2) 令和5年度主催事業（案）について
- 5 その他
- 6 閉 会

3 報告

(ウ) 令和4年度（1月末）利用状況について

ア 滞在日数別利用状況

（下段 令和3年度同期）

滞在日数別利用者数（実人数）				実人数	延人数	稼動日数
1日	1泊2日	2泊3日	3泊4日以上			
2,873人 (4,900)	4,604人 (2,513)	57人 (0)	35人 (0)	7,569人 (7,413)	12,427人 (9,926)	175日 (119)

イ 対象別利用状況

（下段 令和3年度同期）

対象	幼・保	小学校	中学校	少年団体	その他	合計
団体数	5団体 (7)	43団体 (51)	11団体 (7)	23団体 (30)	39団体 (15)	129団体 (110)
人数	341人 (507)	3,277人 (4,222)	1219人 (733)	1,053人 (1,178)	1,679人 (773)	7,569人 (7,413)

ウ 月別利用状況

（下段 令和3年度同期）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
団体数	8団体 (6)	10団体 (10)	20団体 (15)	15団体 (12)	11団体 (2)	17団体 (0)
人数	379人 (252)	1,023人 (789)	1,308人 (913)	496人 (921)	483人 (109)	1,059人 (0)
月	10月	11月	12月	1月	合計	
団体数	16団体 (23)	15団体 (18)	10団体 (21)	7団体 (3)	129団体 (110)	
人数	1,065人 (1,767)	989人 (1,168)	443人 (1,243)	324人 (251)	7,569人 (7,413)	

エ 年度別利用状況

年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団体数	212団体	243団体	90団体	122団体	129団体
実人数	12,039人	13,184人	5,013人	7,587人	7,569人
延人数	22,010人	25,365人	5,896人	10,184人	12,427人

※ 令和4年度は、令和5年1月末現在

○令和4年度予約状況（令和4年4月8日時点） 119団体 13,525人

○令和4年度キャンセル状況（令和5年1月31日現在）24件

○新型コロナウイルス感染症への対応

別紙の「利用にあたっての留意事項」について、少年自然の家ホームページや責任者打合せ会議で周知しているとともに、入所時に、手洗いや換気等の基本的な感染対策の実施について協力をお願いしている。

なお、手洗い場や、トイレ等に、手指消毒用アルコール（ポンプ式）を備えているほか、昨年度に非接触型体温計（3台）及び自動消毒器（6台）を購入し、正面入口や食堂入口等に継続して設置している。また利用者の退去後に、利用した箇所について職員による消毒作業を行っている。

(2) 令和4年度主催事業について

※ /は、新型コロナウイルス感染症の影響等により中止または延期となった事業

行事名	期日	参加人数	内容等
四季の体験学習①	5月14日(土)	募集 50名 参加 40名 (男 11名, 女 29名)	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りを体験する。 ・田植え体験 ・仲間づくり
ウォーターロケットプロジェクト① ※抽選実施 応募総数 78名	7月2日(土)	募集 30名 参加 30名 (男 20名, 女 10名)	ロケットが飛ぶ仕組みについて体験を通して学び、宇宙や航空などの科学技術に興味を抱かせる。 ・基本形ロケット製作
サマーキャンプ ※抽選実施 応募総数 169名	7月29日(金) ~30日(土)	募集 54名	キャンプ生活や野外活動を通して、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。 ※10月29日(土)~30日(日)に延期し、オータムキャンプと名称を変更し、実施。
宇宙探検	8月6日(土) ~7日(日)		・天体観測 ・ペットボトルロケット製作
ウォーターロケットプロジェクト②	8月27日(土)		・パラシュート付ロケット製作 ※10月16日(日)に延期
四季の体験学習②	9月17日(土)	参加 37名 (男 8名, 女 29名)	・稲刈り体験(刈り方, 束ね方) ・おだかけ体験
ウォーターロケットプロジェクト②	10月16日(日)	参加 20名 (男 13名, 女 7名)	・パラシュート付ロケット製作
四季の体験学習③	10月22日(土)	参加 37名 (男 9名, 女 28名)	・収穫祭(餅つき体験)
オータムキャンプ	10月29日(土) ~30日(日)	募集 54名 参加 37名 (男 20名, 女 17名)	キャンプ生活や野外活動を通して、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。
秋の味覚狩り ※抽選実施 応募総数 42家族	11月5日(土)	募集 10家族 参加 30名 (男 13名, 女 17名)	少年自然の家近くの果樹園でりんご狩りを行い、収穫したりんごを使ってアップルパイ作りに挑戦し、実り豊かな秋を感じてもらう。
ウォーターロケットプロジェクト③	11月12日(土)	参加 14名 (男 11名, 女 3名)	・ダブルタンク式ロケット製作

行事名	期日	参加人数	内容等
ふたご座流星群2022 ※抽選実施 応募総数 76 家族	12月10日(土) ～12月11日(日)	募集 15 家族	三大流星群の一つであるふたご座流星群は、その中でも最大規模の流星群であり、専任講師の解説を聞きながら、参加者全員で流れ星を観賞することで、天体や宇宙に対する興味・関心を抱かせる。
バンブーの森	12月17日(土)		・親子で門松作り
家族で陶芸体験	1月14日(土)		粘土を手で成型しながら、手ひねりならではのあたたかい風合いの陶芸作品を親子で制作する。
うどんフェスタ	1月21日(土)		親子で手打ちうどん作りにチャレンジしながら、親子のふれあいを深める。
スターハウス in 自然の家	2月4日(土)		専門講師の解説を聞きながら冬の大三角形などの星空を「手作り望遠鏡」で楽しみ、天体や宇宙に対する興味関心を高める。
ネイチャーデイキャンプ(小学校低学年対象) ※抽選実施 応募総数 57 家族	2月18日(土)	募集 10 家族	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める。
ネイチャーデイキャンプ(小学校高学年対象) ※抽選実施 応募総数 29 家族	3月4日(土)	募集 10 家族	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める。
ウォーターロケットプロジェクト④	3月5日(日)		・二段式ロケット製作

4 協 議

(1) 令和5年度運営方針（案）について

ア 運営方針

近年、自然に親しむ機会が減少しつつある子どもたちに、里山の自然の中で野外活動を体験するなどして、情操や社会性を豊かにするとともに、生命や自然を尊重し、環境を大切にすることを育てる。

また、集団生活により、社会生活に必要な規律・友愛・協同・奉仕の精神を育て、未来をリードする心豊かな青少年の育成に努める。

イ 利用促進方策について

子どもたちの心身ともに健やかな成長とさらなる利用者数の増加に向けて、地域特性を生かした新たなプログラムを展開するなど、自然体験活動の拠点としての機能充実に努める。

施策の方針と取組の柱

- 現代的な教育課題への対応
 - ①体験活動プログラムの充実
 - ②野外教育の充実
 - ③人間関係づくりなど重要課題への対応
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ①立地資源を生かした特色ある事業展開
 - ②地産地消の推進
 - ③天体観測の推進
- 利用校，利用対象の拡大
 - ①周知・利用の拡充
 - ②研修の充実
 - ③受入環境の充実
- 関係団体等との連携強化
 - ①自然体験コーディネート機能の強化
 - ②人的資源の活用

ウ 事業について

利用促進方策に掲げる四つの方針や各方針に掲げる取組の柱、さらには利用者からの要望などを踏まえながら、事業の強化・充実に努めていく。

- 現代的な教育課題への対応
 - ・ライフスキル研修の実施
 - ・試練，チャレンジの機会を与える冒険教育の実施
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ・地元農産物の栽培体験や調理体験事業の実施
 - ・地域食材を活用した食事の提供
 - ・天体観測事業の推進
- 利用校，利用対象の拡大
 - ・ホームページ等の充実
 - ・周知範囲の拡大（高等学校，大学等）
- 関係団体等との連携強化
 - ・青少年育成関係団体が行う研修会等の積極的な誘致
 - ・発明クラブなどの各団体とのネットワークの構築

(2) 令和5年度主催事業（案）について

行事名	期日	内容等	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
四季の体験学習 （市森林公園との共催）	① 田植え 5月13日（土） ② 稲刈り 9月24日（日） ③ 収穫祭 10月29日（日）	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りや収穫体験をする。	○		○	○	
ウォーターロケットプロジェクト	① 7月2日（日） ② 8月26日（土） ③ 10月15日（日） ④ 11月11日（土）	体験を通してロケットが飛ぶ仕組みを学び、宇宙や航空などの科学技術に興味を抱かせる。		○			○
サマーキャンプ	7月27日（木） ～7月28日（金）	キャンプ生活や野外活動を通して、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。	○	○	○	○	
宇宙探検	8月5日（土） ～8月6日（日）	ペットボトルロケット作りや天体観測の活動を通して、科学や宇宙の素晴らしさに気付かせる。		○			○
秋の味覚狩り	11月4日（土）	自然観察や秋の作物を収穫する活動を通して、秋の自然や味覚を満喫し、親子の心のふれあいを深める。	○		○		○
家族で本気の笠間焼	① 12月3日（日） ② 1月14日（日）	本格的な笠間焼作りの体験を親子で実施。		○			○
スターハウス	12月9日（土） ～12月10日（日）	人類で初めて望遠鏡を天体に向けたガリレオに習い、自作の望遠鏡作りに挑戦する。また、望遠鏡の操作方法を学び天体観察の活動を通して、壮大な宇宙や星座に対する探究心を高める。	○	○			○
家族で門松作り	12月17日（日）	家族で門松作りを行う。		○			○

行事名	期日	内容等	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
落ち葉でたき火	1月20日(土)	たき火を用いて、家族で焼き芋や焼きマッシュマロを作る。	○	○			○
ネイチャーデイ キャンプ(小学校 低学年を含む家 族が対象)	① 2月17日(土) ② 3月2日(土)	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める。	○	○			○
ネイチャーデイ キャンプ(小学校 高学年を含む家 族が対象)	① 3月10日(日) ② 3月17日(日)	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める	○	○			○

水戸市少年自然の家運営委員会委員名簿

(順不同)

氏 名	役 職	備 考
玉 井 康 浩	国田義務教育学校校長	
森 久美子	稲荷第一小学校校長	
江 幡 和 代	笠原小学校校長	
栗 原 和 彦	河和田小学校校長	
澤 田 幸 宏	水戸市子ども会育成連合会会長	
田 山 きよ子	水戸市ボーイスカウト・ ガールスカウト連絡協議会副会長	
青 柳 直 子	茨城大学 教育学部教授	
松 橋 義 樹	常磐大学 人間科学部助教	
根 本 栄 寿	山根自治連合会会長	
笹 島 武	公募（一般市民）	

任 期 令和3年7月8日～令和5年7月7日